

# 第3章

## 工業用水道事業



渋川工業用水道事務所 沈澱池



## 1 事業概要

工業用水道事業は、昭和38年に地方公営企業法が適用され、低廉豊富な工業用水を安定的に供給することにより、県内工業の振興発展に寄与することを目的にしている。

企業局では、利根川表流水を水源とする渋川及び東毛の2箇所の工業用水道を運営しており、地域開発のための基盤整備事業として、環境及び国土の保全を図る地盤沈下対策事業として重要な役割を果たしている。

また、附帯事業として、渋川工業用水道では渋川市上水道へ原水供給を行っている。

## 2 令和元年度事業(実績)

### (1) 給水実績

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	88社98事業所	96社106事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,585,120	30,969,918	72,555,038
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	32,092,691	14,712,241	46,804,932
年間給水料金(税込み)	581,201千円	1,151,263千円	1,732,464千円

### (2) 主な建設改良事業

- ・ 渋川工業用水道 上郊ルート改良事業配水管布設工事 398,409千円
- ・ 渋川工業用水道 沈澱池3号耐震補強工事 45,452千円
- ・ 渋川工業用水道 天日乾燥床増設工事 48,169千円
- ・ 渋川工業用水道 原水調整池排泥池増設工事 38,709千円
- ・ 渋川工業用水道 制御用電源装置取替工事 85,800千円
- ・ 東毛工業用水道 ハッ場ダム関連負担金 130,668千円

## 3 令和2年度事業(予定)

### (1) 業務の予定量

	渋川工業用水道	東毛工業用水道	合計
給水事業所数	8社8事業所	88社98事業所	96社106事業所
年間契約水量 (m <sup>3</sup> )	41,471,300	30,782,640	72,253,940
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	34,667,640	15,711,790	50,379,430
年間給水料金(税込み)	585,555千円	1,151,975千円	1,737,530千円

### (2) 主な建設改良事業

- ・ 渋川工業用水道 上郊ルート改良事業
- ・ 渋川工業用水道 沈澱池2号耐震補強工事
- ・ 東毛工業用水道 取水ポンプ更新工事
- ・ 東毛工業用水道 PAC注入ポンプ更新工事

#### 4 施設の概要 (令和2年4月1日現在)

	渋川工業用水道 (渋川市白井957)	東毛工業用水道 (太田市高林南町1-7)
事業費	当初 859 百万円 拡張 3,107 百万円 改築 3,899 百万円	当初 16,320 百万円 拡張 16,171 百万円
建設期間	当初 昭和38年度 ~ 昭和44年度 拡張 平成10年度 ~ 平成20年度 改築 平成30年度 ~ 令和2年度 平成元年度 ~ 平成21年度 令和元年度 ~ 令和6年度	当初 昭和50年度 ~ 令和元年度 拡張 昭和62年度 ~ 令和元年度
給水能力	120,000 m <sup>3</sup> /日	128,500 m <sup>3</sup> /日
水源	利根川表流水	利根川表流水 草木ダム(通年) 奈良俣ダム(冬期) 八ツ場ダム(冬期) 利根川表流水(夏期)
給水開始年月日	昭和40年8月10日 (一部) 昭和44年4月1日 (全部)	昭和53年10月18日 (一部)
給水区域	前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町	伊勢崎市、太田市、館林市、板倉町、 明和町、千代田町、大泉町、邑楽町
給水事業所数	8社8事業所	88社98事業所

## 5 経営の状況

### (1) 給水量と料金収入の推移

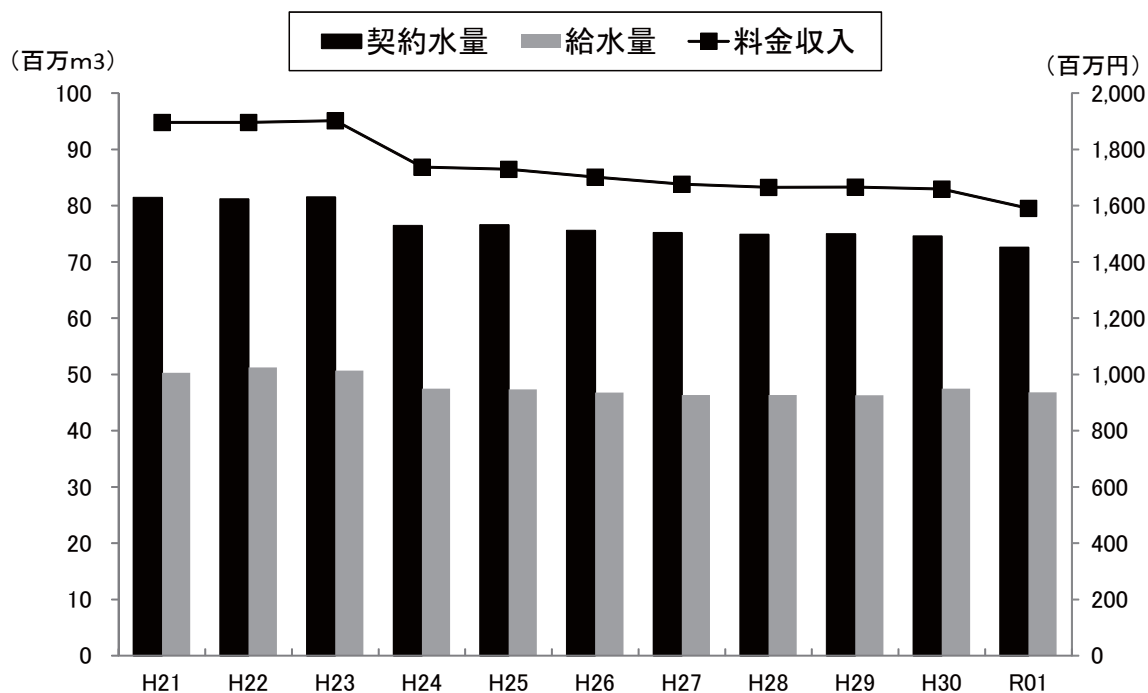
(税抜き)

区 分 \ 年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (予定)
渋川工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	41,435	41,459	41,471	41,585	41,471
	給水量(千m <sup>3</sup> )	30,756	31,237	32,291	32,093	—
	給水率(%)	74.2	75.3	77.9	77.2	—
	料金収入(千円) 対前年比(%)	527,973 99.8	528,745 100.2	531,875 100.6	533,234 100.3	532,323 —
東毛工業用水	契約水量(千m <sup>3</sup> )	33,408	33,504	33,097	30,970	30,783
	給水量(千m <sup>3</sup> )	15,597	15,071	15,207	14,712	—
	給水率(%)	46.7	45.0	45.9	47.5	—
	料金収入(千円) 対前年比(%)	1,137,103 99.1	1,137,722 100.1	1,127,836 99.1	1,057,871 93.8	1,047,250 —
合 計	契約水量(千m <sup>3</sup> )	74,843	74,963	74,568	72,555	72,254
	給水量(千m <sup>3</sup> )	46,353	46,308	47,498	46,805	—
	給水率(%)	61.7	61.8	63.7	64.5	—
計	料金収入(千円) 対前年比(%)	1,665,076 99.3	1,666,467 100.1	1,659,711 99.6	1,591,105 95.9	1,579,573 —

注1：給水率＝給水量／契約水量×100

注2：令和元年度における各実績値は、令和2年がうるう年のため、366日分として計上。

### 契約水量と料金収入の推移



(2) 契約料金

① 渋川工業用水道

(円/m<sup>3</sup>・税抜き)

年 度	S40～49	50	51～55	56～H6	7	8～11	12～18	19～(注2)
基本料金	4	6(注1)	7	9	11	12	13	12
使用料金	—							1

注1 : S50. 4. 1～S50. 12. 31 : 6円、S51. 1. 1～ : 7円

2 : H19. 4. 1～二部料金制導入

② 東毛工業用水道

(円/m<sup>3</sup>・税抜き)

年 度	S53～55	56～58	59～61	62～H元	2～4	5～7	8～10	11	12	13～18	19～(注)
基本料金	13	16	19	22	26	29	32	33	34	35	33
使用料金	—										2

注 : H19. 4. 1～二部料金制導入

## 6 予算

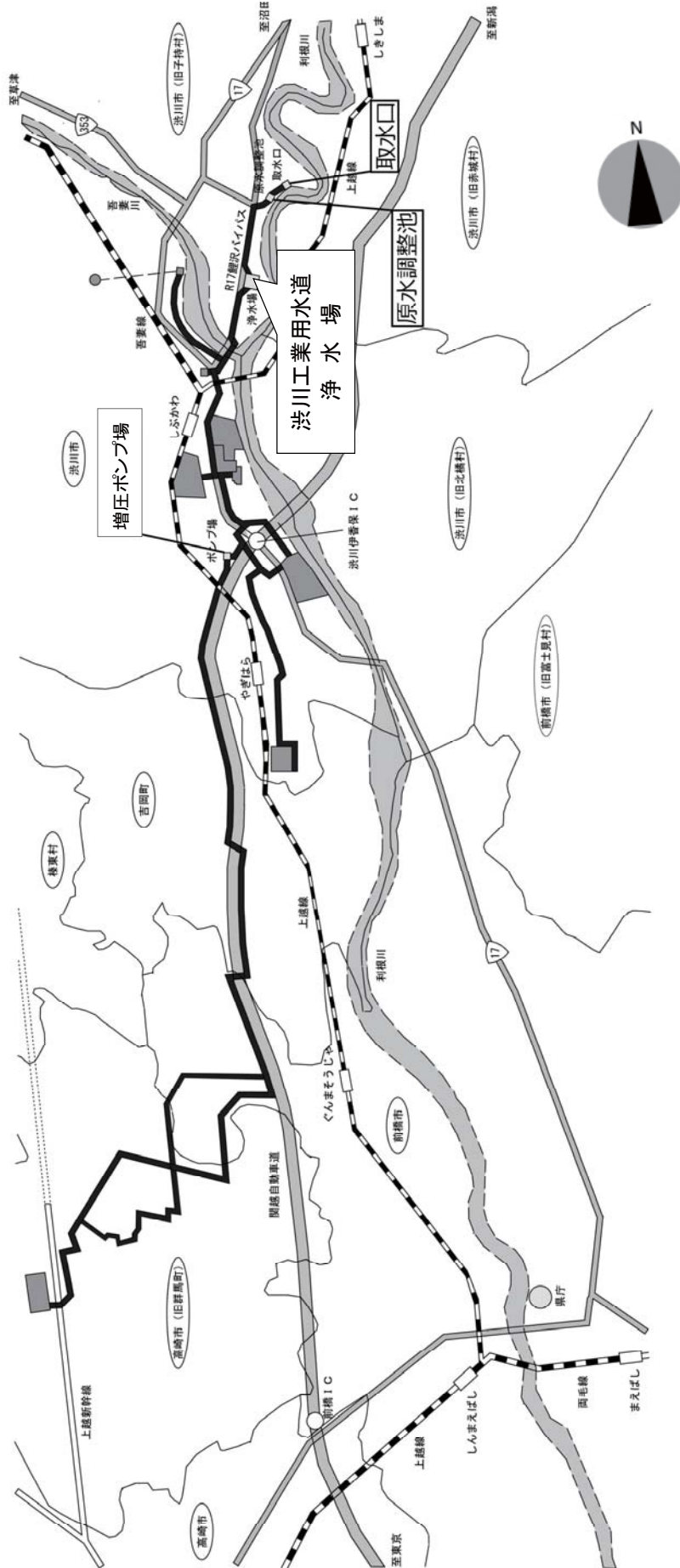
収益的収支及び資本的収支の状況

(単位 千円)

区 分		令和2年度当初予算	前年度当初予算
収益的 収入 ・ 支出	工業用水道事業収益	2,076,889	2,302,414
	営業収益	1,737,530	1,712,423
	営業外収益	311,528	284,920
	特別利益	27,831	305,071
	工業用水道事業費用	2,051,546	1,899,082
	営業費用	1,790,535	1,626,676
	営業外費用	241,011	225,526
	特別損失	—	11,880
	予備費	20,000	35,000
	差 引	25,343	403,332
資本的 収入 ・ 支出	工業用水道事業資本的収入	488,090	941,650
	補助金	13,600	28,800
	他会計からの長期借入金	323,000	571,000
	工事費負担金	151,490	341,850
	工業用水道事業資本的支出	1,269,287	1,710,868
	建設改良費	516,366	958,159
	企業債償還金	702,921	702,709
	予備費	50,000	50,000
	差 引	△ 781,197	△ 769,218

# 7 給水区域図

## 渋川工業用水道給水区域図







東毛工業用水道給水区域図



